

令和6年度 第2回 三島総合病院 地域協議会 議事録

開催日時: 令和6年3月6日(木) 13時～

場 所: 三島総合病院 東棟小会議室

出席者: 委員) 吉富 雄治(一般社団法人三島市医師会会長)

浅見 徹哉(三島市健康推進部・健康づくり課長)

志村 肇(三島市谷田押切町内会役員)

病院) 赤倉 功一郎(三島総合病院院長)

大沼 以恵(三島総合病院看護部長)

渡辺 正芳(三島総合病院事務長)

林 恭平(三島総合病院事務長補佐(医事) 附属介護老人保健施設
管理課長補佐併任)

【次 第】

1. 病院長挨拶
2. 三島総合病院の現況について
3. 三島総合病院への要望事項について
4. その他
5. 閉会

1. 病院長挨拶

当院院長より開会の挨拶があり、地域医療の重要性について言及があった。

2. 三島総合病院の現況について

病院関係者より、以下の点について報告がなされた。

経営状況について

- ・ 令和7年2月1日現在、常勤職員276名、非常勤職員を含めると340名超の規

模。

- 全国的に医師・薬剤師不足が問題となる中、薬剤師 1 名の新規確保に成功。
- 収支は黒字を維持しており、1 億 2300 万円の累積黒字を計上。
- 物価高騰の影響で光熱費や給食委託費の増加が見られる。

医療提供体制について

- 病床稼働率は 95.4%と高水準を維持。
- 外来患者数は前年同月比で回復傾向にある。
- 診療科別では消化器科・呼吸器内科の入院患者が全体の約 4 割を占める。
- 医師の高齢化が進んでおり、特に消化器科・呼吸器科の後継者確保が課題。
- 整形外科医の確保も喫緊の課題であり、大学との連携や医師派遣の交渉を進めている。

地域連携について

- 当院玄関を入って左側に従前より面積を拡大した新たな「地域医療連携室」を設置、これまで院内に分散配置されていた関係職員の集中配置が実現し、業務効率化を図り、これまで以上の活動強化をねらう。
- 訪問看護ステーションの訪問回数が増加しており、人員増も計画中。
- 地域包括ケア推進研修会等を引き続き実施し、関係機関との連携を深化させる。

3. 質疑応答

質問: 医師不足の解決策は？

- 回答:
- 静岡県が県の奨学金制度を活用し、東部地域での勤務希望者を増やす試みを推進中であり、当院もできる限りの協力をしていく。
 - 現在非常勤医師を派遣いただいている大学との連携強化により若手医師の確保を目指す。
 - 他の病院での成功例を参考に、新たな医師確保策を検討中。

質問: 病院としての光熱費に係る節約策は何か考えているか？

回答: 照明の LED 化や設備の見直しを進めているが、現時点では未施行である。

質問: 眼科と泌尿器科の患者数が多いが、対応策は？

- 回答:
- 眼科の手術件数が多く、特に入院を希望する患者のニーズに対応していく。
 - 泌尿器科は他院に比べてスタッフが揃っており、現状の体制を維持・強化する。

4. その他

防災計画の見直しについて

- 令和7年10月から三島市の医療救護計画の変更が予定されており、市民への周知を進める。
- 三島市南部地域の医療機関が手薄になる可能性があるため、対応策を検討。
- 来年度、三島総合病院が災害拠点病院として頭上訓練を実施予定（静岡県病院協会主催）。

次回会議日程について

- 令和7年10月19日（木）または23日（木）
- 令和7年3月5日（木）
- 具体的な日程は調整の上、確定次第通知。

5. 閉会の挨拶

当院院長より、今後も地域医療の発展に向けた協力をお願いし、閉会となった。

以上